

平成27年第3回(9月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 石垣 正博 議員
 - 1) 空き家対策を万全に
2. 高橋 重信 議員
 - 1) 東北放射光施設の誘致は出来るのか
 - 2) 急ぐ生活道路の整備
3. 赤間 滋 議員
 - 1) 総合行政の充実強化について
4. 和賀 直義 議員
 - 1) 過般の集中豪雨(台風18号)の被害状況と今後の対策について
 - 2) 若者の活躍推進、人口減少対策、更なる子育て支援の充実について
 - 3) 新町営住宅の建て替えについて
5. 大友 三男 議員
 - 1) 住民バスの苦情について
 - 2) 大雨が降るたびに冠水している町道及び県道について
6. 千葉 勇治 議員
 - 1) 味明川河川改修工事について
 - 2) 認知症予防事業の取り組みについて
 - 3) こどもの体力向上対策について
7. 赤間 茂幸 議員
 - 1) 総合運動公園の整備、改修等について
8. 石川 壽和 議員
 - 1) ふるさと納税のお礼品について
 - 2) 歴史民俗資料館について
9. 若生 寛 議員
 - 1) 仮称「町道山中・希望の丘線」の開通後の効果は
 - 2) 松くい虫被害木の現状と処理状況は

平成27年第3回(9月)大郷町議会定例会一般質問通告書

通告順位 No. 1

9番 石垣正博議員

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 空き家対策を万全に</p> <p>高齢化や人口減少を背景に、全国で空き家が増え続けている。2013年の総務省の調査では、820万戸(住宅全体の13.5%)ある。老朽化し適切な管理が行われず、放置されたままの空き家が増え続けている。空き家は、景観上の問題だけでなく、ごみの不法投棄や不審者の侵入等による治安の悪化、災害時に空き家が倒壊して避難や消防の妨げとなる。このような危険性のある空き家は早期に対処する必要がある。既に国では、空き家対策特別措置法を今年5月に立上げ動き出している。本町にも、相当数の空き家が存在していることと思う。</p> <p>そこで、本町では空き家対策をどのように進めているのか、又空き家を増やさないための政策等を考えているのか伺う。</p>	一問一答方式

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 東北放射光施設の誘致は出来るのか</p> <p>放射光施設の誘致については、平成 24 年6月に東北の7つの国立大学で設立した「東北放射光施設推進会議」、平成 26 年7月東北の産学官 27 団体が一体となりシンポジウムやセミナーの開催、大郷町としても参加、兵庫県にあるスプリング 8 の視察調査、国・県への誘致のための要望活動を行った。また、地質調査には 925 万円の経費をかけ、実施調査した。文科省での予算及び事業であるとの説明であったが、ここにきて建設負担、運営費等に莫大な経費がかかることを理由に、宮城県は世界三大放射光施設に数えられるフランス南東部にあるグルノーブル視察の中止と放射光施設誘致の戦略を見直した。</p> <p>大郷町は今後も誘致運動をしていくと説明しているがどのように取り組んでいくのか所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 急ぐ生活道路の整備</p> <p>町内の未舗装道路や道幅の狭い道路の拡幅を要望している場所が多くありますが、順次計画的に取り組むべきと考えるが所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 総合行政の充実強化について</p> <p>地方の力をもっと強くしようというねらいで、2000年から施行された地方分権一括法の施行等に伴い、地方の自主裁量を高め、国から地方へと事務・権限等が移譲され、自治体の果たすべき役割はますます重要かつ多岐にわたっている。そこで本町の「住民の福祉の増進」のため総合行政の更なる充実と強化を図る必要があると考える。</p> <p>そこで</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自主財源の確保について 2) 行政組織の見直しについて 3) 高齢者福祉の更なる充実について <p>以上の3点について所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 過般の集中豪雨（台風18号）の被害状況と今後の対策について</p> <p>30年・50年に一度といわれる異常気象が常態化しており、予想をはるかに超える痛ましい災害が日本各地で発生しています。今後の安心・安全なまちづくりのために伺う。</p> <p>①被害状況について（道路、家屋、農地等）、家屋・農業被害への支援は。</p> <p>②被害の大きい、又豪雨の浸水が常態化している地域の解決策は。</p> <p> 吉田川沿いの土橋細田地域 中村要害～粕川後谷地地域 味明川沿いの羽生天神畑・堰場地区</p> <p>③避難された人の割合、避難行動要支援者への対応と、自助、共助の啓発活動はどうしていくのか。</p> <p>④土砂災害警戒情報は対象地域に周知されたのか。また啓発活動はどうしていくのか。</p> <p>⑤東日本大震災時に擁壁崩壊の恐れがありながら費用の面で改善できてない地域がある。支援策は。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 若者の活躍推進、人口減少対策、更なる子育て支援の充実について</p> <p>町民は人口減少を大変心配している。18歳以上に選挙権が与えられる背景には、少子高齢化の中で、地域や社会に対する若者の意欲や関心を高めると共に、若者の声を政策決定に反映させ、未来を見据えた政策を創っていくことに繋がる。若者の活躍を推進し、人口減少をストップし、子供達の将来のためにも、より元気な大郷にすべく取り組むことが最重要と考え伺う。</p> <p>①大郷町の新有権者は何名になるのか。</p> <p>②新有権者に対する選挙の啓発、周知、地域の問題を主体的に考える教育をどう進めるのか。</p> <p>③新有権者、青年団、役場の若手との「意見交流・協力会議」を開催し、地方創生に活かさないか。</p> <p>④全員協議会では医療費無料化を18歳まで拡大するとのことだったが、その時期及び財政措置は。</p> <p>⑤若者の定住促進について</p>	

3. 新町営住宅の建て替えについて

新町営住宅計画概要を、全員協議会で説明を受けた。この事業は現入居者にとって期待が大きい、又反面、家賃アップに対し不安がある。

①当初（26年12月）の計画より数年遅れた理由は。

②間取り、家賃の設定はいくらになるのか、又現入居者の家賃軽減措置は。

③現行は住民バスの路線になっているが、新町営住宅地も路線に組み込むべきと考えるが。

④特定優良賃貸住宅に長期入居し、収入が減少し、新町営住宅に入居を希望した場合の優先枠は無いのか。

⑤現東沢住宅を改造し、高齢者向けに低家賃の住宅を検討すると伺っているが、計画は。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 住民バスの苦情について</p> <p>運転手に対して苦情、車輛管理に対しての苦情、バス事業所の対応についての苦情、お客様及び町民の方々の苦情に対しての町の対応を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 大雨が降るたびに冠水している町道及び県道について</p> <p>何十年も続いている後沢田の県道及び丸山の町道、さらに前沢田、久保の冠水被害が今回の大雨でも出ている。今後の町の対応を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 味明川河川改修工事について</p> <p>①河川改修工事途上において、今回の災害に遭い、付近に暮らす住民の生命・財産に多大な影響を及ぼしたことに対する町の所見を伺う。</p> <p>②味明川改修事業を、県に対する町の重要な要望事業の一つとして位置付けている中で、これまで改修を急がせるためにどのような要望運動をしているのか、その経過について詳細にわたる説明を求める。</p> <p>③町側の県に対する働きかけの弱さが改修工事を大幅に遅らせている大きな要因と考えられる。工事を急がせ住民の安全・安心な暮らしを早く取り戻せるよう、町側の強力な運動が求められている。町長の考えを伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 認知症予防事業の取り組みについて</p> <p>①65 歳以上の高齢者のうち、6～7人に一人が認知症有病者といわれている。大郷町に当てはめれば、概ね（65 歳以上 2,675 人×15%）401 人の方が認知症有病者の可能性があることになり、高齢になるほど発症する可能性が高まり、有病率は74 歳までは 10%以下だが 85 歳以上で 40%超と予測されており、本町のその予防対策が急がれる。そこで次の点について伺う。</p> <p>（1）本町の認知症の実態についてどのように認識されているか。</p> <p>（2）認知機能の低下をいち早く気づき、予防対策を行うことで症状の進行を阻止することが極めて重要と考える。そこで65 歳以上（要介護者除く）の介護保険被保険者を対象とした軽度認知障害（MCI）の早期発見と、その後の対策チーム（町をあげて取り組む体制）を組織し、認知症予防、対策に取り組むべき（26 年9月に教育民生常任委員会から意見書提出）と考えるが町の考え方を伺う。</p>	
<p>3. こどもの体力向上対策について</p> <p>こどもたちを取り巻く環境の変化に伴い、小中学生の体力低下が懸念されている。改善を図るための具体的な体力向上対策について伺う。</p>	

①本町の小中学生の体力は、郡・県・国等と比較し、どのような位置付けになっているのか。

②議会の追跡レポートで回答している（おおさとみんなの議会 26年11月176号）、「その後の対応と今後の計画」のその後の具体的取り組み内容について伺う。

③仙台市内の学校のように校舎内や敷地内に、子ども達が楽しみながら体力向上に励むことができる「仕掛け」をつくることもひとつの方法と考え提案したいが教育長の所見を伺う。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 総合運動公園の整備、改修等について</p> <p>施設全般にわたり、相当年数が経過していることから、外観、設備等を修繕、改修の必要性が考えられる。</p> <p>今後の整備改修計画について伺う。</p> <p>また、今後施設等を利用するスポーツイベント等の計画・企画はどのように考えているか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. ふるさとの納税のお礼品について</p> <p>ふるさと納税のお礼品について、町では商品のリストアップをしておりホームページも写真などを載せてイメージアップするとの考えであったがその進捗状況を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 歴史民俗資料館について</p> <p>大松沢社会教育センターにある歴史民俗資料館は、いまだ、整理されておらず手付かずのようであるが、これからどのように整理し活用していくのか考えを伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 仮称「町道山中・希望の丘線」の開通後の効果は</p> <p>仮称「町道山中・希望の丘線」については、通学路としての安全確保が第一とのことだが、他への波及効果も考えられると思う。</p> <p>特に開通後の周辺地域への経済効果と、土地利用計画はどのようなになるか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 松くい虫被害木の現状と処理状況は</p> <p>本町の自慢の一つである豊かな緑が、近年松くい虫被害により損なわれている。一時期、被害木の伐採も行われていたが、最近では伐採、処分が確認できないようだ。</p> <p>そこで、松くい虫被害木の現状と、今後の処理計画について伺う。</p> <p>①松くい虫被害木の現状と処分状況はどうか。 ②今後、処分の計画はどのようなになっているか。</p>	